

2023年（令和5年）10月

第37号

CONTENTS

ジュニアスポーツ指導者のための情報誌

神奈川県スポ少だより

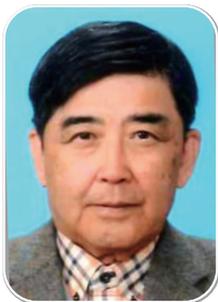
編集：神奈川県スポーツ少年団総務広報部会
発行：（公財）神奈川県スポーツ協会神奈川県スポーツ少年団
発行者：安倍 正弘（神奈川県スポーツ少年団本部長）
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 3-1 TEL045(311)0653(代)

- ごあいさつ ●ジュニアフォーラムだより
- 競技別交流大会競技結果
- 日本スポーツ少年団からのお知らせ
- 市本部だより
- 指導者協議会だより
- 編集後記

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業



ごあいさつ

公益財団法人神奈川県スポーツ協会
神奈川県スポーツ少年団

本部長 安倍 正弘

日頃より、スポーツ少年団育成事業に格別なご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

3年有余猛威を振ったコロナ感染拡大の影響によるスポーツ少年団活動自粛もやっと一区切りがつき、令和5年度は4月からはほぼ以前の活動に戻りつつありホッとしているところです。しかし今後も油断することなく、この3年間に学んだ様々な学びを大切に、今後の少年団活動に生かしていきたいと考えています。

さて再活動を始めたスポーツ少年団ですが、昨今の日本のスポーツ環境の大きな変化を見つめ直し、スポーツ少年団の単位団それぞれが現状・課題を認識し、これからのスポーツ環境の未来にどのように取り組んでいけばよいのかをいよいよ真摯に考えていかねばなりません。私たちスポーツ少年団は、日本の子どもたちとの『スポーツとの関りの第一歩』という大切な担い手（役割）であることを自負して、これからの日本のスポーツ環境に益々貢献していきたいと思えます。

ここに今後のスポーツ少年団の道しるべとして、6月におこなわれた日本スポーツ少年団「第6回 ジュニアスポーツフォーラム」の会議報告をお伝えするとともに、今年度から実施している神奈川県スポーツ少年団「市・町巡回ミーティング」について再びお願いして、ご挨拶にかえさせていただきます。



2023年度 スポーツ環境の安心・安全、充実、発展への歴史的転換期に臨んで 第6回ジュニアスポーツフォーラム報告より学ぶ

去る6月18日、日本スポーツ少年団主催の第6回ジュニアスポーツフォーラム（旧：指導者全国研究大会）が開催され、各テーマ別分科会にて、日本スポーツ少年団の将来図への提言がされました。

1. 今、スポーツ環境の歴史的転換点にいることを自覚（確認）しスポーツ少年団の方向性を探ろう

- (1) 2023年から、①JSPD 中期計画2023-2027と「スポーツ少年団改革プラン2022」を受けての、
②『第11次育成5か年計画（アクションプラン2023-2027）』がスタートした。

—少子化による団員減少やコロナ禍の影響下、
スポーツ少年団環境の充実・発展のために再スタートをきろう—

- (2) 2023年から、学校部活動から地域部活動への改革推進期間がスタートした。

—地域の子どもは地域で育てる、そのためのスポーツ環境の一翼を担おう—

2. 全体会、分科会での提言で学んだこと

- (1) 全体会—特別講演 テーマ「脳の発達と教育」 講演者：東北大学准教授 細田千尋
- ・子どもの健全な発育・発達の場として、「ちいき」「スポーツ」のカテゴリーはとても重要
 - ・脳が、Well-being の状態（幸福）で維持されるようスポーツ環境を整備しよう
 - ・脳は変わる、脳を変えるを理解し、正しいスポーツコーチングに努めよう
 - ・自主的、自発的を基本に楽しいスポーツコーチングに努めよう
 - ・質のあるコーチングが大切→練習量で得られる力は20%に過ぎない
 - ・地域力低下はコミュニケーション力低下につながる

(2) A分科会 テーマ「プレーヤーズセンタードなコーチングの実践」

- ・ワークショップ形式による分科会（日本のコミュニケーションからの脱却）に取り組む
- ・アスリートファーストからプレーヤーズファースト、そしてプレーヤーズセンタードへと
- ・クローズドクエスチョンとオープンクエスチョンのコーチングの違いとは
- ・自己満足なコーチングと効果的なコーチングの違いを知り、学び続けるコーチになろう

(3) B分科会 テーマ「子どもの発達発育と地域スポーツ～アフターコロナを支えるスポーツ少年団の姿～」

- ・コロナによる子どもたちの生活習慣の変化は、体力低下に影響している
- ・スポーツ環境の多様化は、子どもの所属意識の変化に影響を与えている
- ・スポーツ指導者はリスクマネジメントとして、コロナ後の様々な知識を共有化し、運営の姿や指導の姿を見直していこう
- ・今は子どもたちの将来への通過点、『やればできる』、その一步を導くために！

(4) C分科会 テーマ「地域スポーツ団体のガバナンス整備～運動部活動の地域連携・移行も見据えて～」

- ・スポーツ界における暴力根絶宣言が出されて10年、2023.4.25新たに日本スポーツ協会は『No! スポハラ』活動を始めました
- ・人（個人）による統治から → ルールによる統治へ組織を進化させよう
- ・2027年度までに、単位スポーツ少年団は100% ガバナンスコードを作成しよう
- ・セルフチェック自己説明公表で、地域におけるスポーツ少年団（指導者&組織）の信頼・価値度を高めよう
- ・単位スポーツ少年団のSDGsに努めよう

3. ジュニアフォーラム会議で学んだこと

(1) 第11次育成5か年計画の実践に取り組もう（単位団としてできることに取り組もう）

- ・公認指導者資格への変更に取り組もう
- ・スタートコーチ資格取得に取り組もう
- ・ACP活動の実践に取り組もう
- ・中学校部活動地域移行に関わっていこう

(2) スポーツ少年団の再デザイン化に向けての意識改革に取り組もう

- ・スポーツ少年団は、スポーツ環境の大改革を認識し、少年団の再デザイン化に努めよう
- ・スポーツ少年団（単位団）は、これから何に取り組んでいったらいいのか確認していこう

神奈川県スポーツ少年団よりお願い！

令和5年度「神奈川県市町スポーツ少年団巡回ミーティング」について

2023年度から本格スタートしているジュニアスポーツ環境の大改革（スポーツ庁：中期計画2023－2027、中学校部活動地域移行推進期間、スポーツ少年団：第11次育成5か年計画）に対して、県スポーツ少年団が今知り得ている情報を単位団の皆様提供するとともに、今後のスポーツ少年団（単位団）の在り方について意見交換をおこなう場を設ける。

- 【内 容】**
- (1) 再認識 ・日本スポーツ少年団ってどんな団体、大切にしてきたこと（理念、活動、組織）
- ・日本スポーツ少年団60年のあゆみを振り返る
 - ・日本のスポーツ環境（少子・高齢化、多様化、中学部活動地域移行 等）の現状とスポーツ少年団（単位団）の現状（団員減少、指導者拡大、組織運営 等）を知る
- (2) 再構築 ・スポーツ少年団の大改革（意識改革、組織改革、指導者改革）
- ・スポーツ少年団の未来像のために、単位団は何に取り組んでいけばいいか

- 【参加者】** 市町本部（本部長、副本部長、本部員、事務担当者）
単位団（代表、監督、育成母集団役員、保護者他）
JSPO 公認スポーツ指導者（コーチングアシスタント、スタートコーチ）

令和5年度 神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会競技結果

関東ブロック競技別交流大会（神奈川県予選会）

1 第29回神奈川県スポーツ少年団バドミントン交流大会 兼

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バドミントン競技会神奈川県会予選会

【期 日】令和5年6月17日(土) 【場 所】ひらつかサン・ライフアリーナ 【参加数】21団体 259名

種 目	優 勝	準 優 勝	三 位
6年男子単	茜ヶ久保千悟(FUTAGO.jp)	濱井 七織(若草ジュニア)	鈴木 蒼大(若草ジュニア) 市原 碧人(横浜白山)
5年男子単	杉森 翔伍(若草ジュニア)	星 泰誠(FUTAGO.jp)	金子 祐大(横浜白山) 薄井 想介(FUTAGO.jp)
4年男子単	北村 大芽(綾瀬ジュニア)	岡村 星(綾瀬ジュニア)	宮川 麻人(綾瀬ジュニア) 定松 良汰(綾瀬ジュニア)
6年女子単	長原 里紗(横浜白山)	丸 菜々美(有馬子ども会)	福澤いち乃(綾瀬ジュニア) 横田 咲希(法政クラブ)
5年女子単	田中 星(綾瀬ジュニア)	山上 陽莉(横浜白山)	中野 千洋(青葉ジュニア) 須藤 樺乙(青葉ジュニア)
4年女子単	崎坂 萌乃(横浜白山)	熊耳 美咲(法政クラブ)	黒岩 遥(若草ジュニア) 長原 灯(横浜白山)

2 第48回神奈川県スポーツ少年団軟式野球交流大会 兼

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会軟式野球競技会神奈川県会予選会

【期 日】令和5年5月20日(土)～6月17日(土)

【場 所】相模三川グラウンドほか 2会場

優 勝	2 位	3 位
ペガサス(厚木市代表)	南生田ウイングス(川崎市代表)	ひのきビートルズ(相模原市代表) 松林ベースボールクラブ(茅ヶ崎市代表)

3 第42回神奈川県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会 兼

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技会神奈川県会予選会

【期 日】令和5年6月10日(土)～7月2日(日)

【場 所】シンコースポーツ寒川アリーナ 他4会場

	優 勝	2 位	3 位	
男 子 【参加数】32チーム	柿生 (川崎市)	東希望が丘 (横浜市)	N25C長津田第二 (横浜市)	榎が丘ファイターズ (横浜市)
女 子 【参加数】31チーム	香川 (茅ヶ崎市)	柿生 (川崎市)	菅リトルツイスターズ (川崎市)	桜丘ミニスターズ (大和市)

4 第46回神奈川県スポーツ少年団バレーボール交流大会 兼

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バレーボール競技会神奈川県会予選会

【期 日】令和5年7月2日(日)、8日(土)

【場 所】ひらつかサン・ライフアリーナ 他8会場

	優 勝	2 位	3 位	
男 子 【参加数】15チーム	藤沢クラブ (藤沢市)	湘南ドリーム (秦野市)	港南台ジュニア (横浜市)	北相チェリッシュ (相模原市)
女 子 【参加数】36チーム	緑台バレーボール (伊勢原市)	下中スピリッツ (小田原市)	北相チェリッシュ (相模原市)	富士見バンビーナ (小田原市)

5 第13回神奈川県スポーツ少年団空手道競技会 兼

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技会神奈川県会予選会

【期 日】令和5年5月6日(土) 【場 所】横浜武道館 【参加数】9団体 202名(形：106名、組手：96名)

形の部

種 目	優 勝	準 優 勝	3 位
4年 男子	岩田 煌將 (湘南空手道クラブ)	五味 晃樹 (鳳 友 会)	扶持本覚磨(湘南正拳クラブ) 柴田 透冴(英 友 会)
4年 女子	高井 理櫻 (日本空手道翔成會)	小島 実紗 (湘南空手道クラブ)	植村 東子(葉山町空手道) 野中 詩友(湘南空手道クラブ)
5年 男子	森川鼓太良 (湘南空手道クラブ)	小笠原悠佑 (日本空手道翔成會)	村上 一心(湘南空手道クラブ) 益田 櫻介(湘南空手道クラブ)
5年 女子	高橋 果歩 (湘南空手道クラブ)		
6年 男子	狩野 咲哉 (鳳 友 会)	米田 晃清 (湘南空手道クラブ)	木戸口晃士(横浜系東会空手道) 高井 優聖(日本空手道翔成會)
6年 女子	小島 明依 (湘南空手道クラブ)	多田 湊 (湘南空手道クラブ)	森田 瑠奈(日本空手道翔成會) 田所 真花(横浜系東会空手道)

組手の部

種 目	優 勝	準 優 勝	3 位
4年 男子	扶持本覚磨 (湘南正拳クラブ)	萩原 廉 (鳳 友 会)	五味 晃樹(鳳 友 会) 柴田 透冴(鳳 友 会)
4年 女子	小島 実紗 (湘南空手道クラブ)	野中 詩友 (湘南空手道クラブ)	植村 東子(葉山町空手道) 大塚 友結(英 友 会)
5年 男子	森川 鼓太良 (湘南空手道クラブ)	斎藤 蒼佑 (湘南正拳クラブ)	小林 英琉(横浜系東会空手道) 益田 櫻介(湘南空手道クラブ)
5年 女子	芹田 明日花 (葉山町空手道)		
6年 男子	狩野 咲哉 (鳳 友 会)	田中 力 (湘南空手道クラブ)	木戸口晃士(横浜系東会空手道) 湯川 翔太(湘南空手道クラブ)
6年 女子	扶持本 花音 (湘南正拳クラブ)	小島 明依 (湘南空手道クラブ)	藤野 実花(湘南空手道クラブ) 坂本 遥(日本空手道翔成會)

第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【総合開会式】令和5年7月28日(金) エスフォルタアリーナ八王子

【交 流 大 会】令和5年7月16日(日)~30日(日)

種 目	会場地	参加チーム	結 果
軟式野球	一本杉公園野球場	ペガサス	Aブロック：準優勝
バレーボール	水元総合スポーツセンター	緑台バレーボール	Aブロック：優 勝
ミニバスケットボール	エスフォルタアリーナ八王子	柿生レッズ(男子) 香川ミニバス(女子)	Cブロック：第1位 Bブロック：第3位
バドミントン	エスフォルタアリーナ八王子	神奈川県選抜(男子) 神奈川県選抜(女子)	男子：優 勝 女子：第3位
空手道	東京武道館	神奈川県選抜(男子) 神奈川県選抜(女子)	男子：【形】神奈川県A 優勝 女子：【形】神奈川県A 優勝 【形】神奈川県B 3位 総合：5位

■日本スポーツ少年団からのお知らせ

手続きはお済ですか？ 指導者資格の移行

旧認定員資格保有者の資格移行期間が近づいています

2020年4月より、スポーツ少年団の指導者制度が改定され、「指導者」として登録をするすべての方が更新・登録制の JSPO 公認指導者資格 (JFA または JBA の C 級以上のライセンスも含む) を保有することが義務付けられました。

これまで、スポーツ少年団では「認定員」資格を保有していた方が多くいらっしゃいますが、この認定員資格を取得した際に同時に「JSPO 公認スポーツリーダー」の資格も取得されています。このスポーツリーダーの資格は永年資格となっており、登録・更新制の資格には該当しません。そのため、2024年度以降も、「指導者」として登録をされる方は JSPO 公認指導者資格 (JFA または JBA の C 級以上のライセンスも含む) の取得が求められます。2023年度までは資格の移行期間として2019年度に認定員として登録があった方に関しては、資格の取得をしていなくても指導者登録が可能となっておりましたが、いよいよ、移行期間の終了が迫って参りましたので改めてご案内いたします。

なお、今回のご案内は「認定員」の方々向けのご案内となります。

JFA または JBA の C 級以上のライセンス保有者または既に JSPO 公認指導者資格をお持ちの場合は資格の移行手続きは不要となります。

移行手続きのポイント

ポイント1

「旧認定員」のみなさんは「スポーツリーダー」の資格を「コーチングアシスタント」に移行する。

ポイント2

移行手続きは個人で「JSPO 指導者マイページ」より行う。

ポイント3

認定証の再発行は行っていませんので、紛失している場合はスポーツ少年団登録システムの資格情報を画面キャプチャしたもので代用可能です。

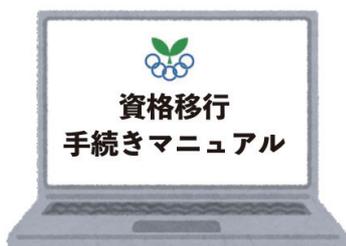
ポイント4

2024年度4月のスポーツ少年団登録に資格移行を間に合わせるためには2023年11月30日までに移行申請を完了させる必要があります。

ポイント5

登録に際しては4年間の資格登録料として10,000円、初年度の関しまして初期登録手数料として3,300円の合計13,300円が必要になります。

詳細に関しましては QR コードでそれぞれの情報をご確認ください。



コーチングアシスタントへの移行手続き



指導者制度改定について



指導者マイページ

市町本部長紹介・藤沢市



藤沢市スポーツ少年団
本部長 谷口 三千也

前号より、神奈川県スポーツ少年団本部広報紙に「市町本部長紹介」コーナーがスタートし、これは楽しみな企画だと思っていたところ、いきなり私のところへ原稿依頼が舞い込んできましたので、驚くやら慌てるやら……。まあ、いずれはやってきたであろうからと諦めの境地で駄文を綴ってみました。

私が、スポーツ少年団の指導を始めたのは、昭和52年（1977年）のことです。その2年前に新採用教員として赴任した小学校は、夏休み中に近隣の2つの小学校とともに3校でPTA主催のバドミントン大会を行うのが恒例となっており、私もその指導者の一人として関わることになったのがきっかけでした。練習の時の子どもたちの一生懸命さや優勝した時の嬉しそうな顔を見ていると、夏の間だけのバドミントンではなくて、もっと一年中子どもたちとバドミントンに関わっていけたらと思うようになりました。

そこで、何かそういうクラブ的なものは作れないか、校区内の地域社会体育協議会の役員に相談してみると、スポーツ少年団というのがあるよ、と教えてくれました。

調べてみると、子どもたちにスポーツの楽しさを、というスポ少の理念が私の思いとぴったりでした。それから、市に問い合わせたり、学校のほうに話を通したりし、5・6年生から希望者を募集して活動を開始したのが、昭和52年のこと。当時、藤沢市に本部が結成されて8年目というところでした。

以来、今日まで46年。現在も、自分の団でバドミントンの指導にあたっております。

藤沢市スポーツ少年団は、現在、野球、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、空手道、ラグビー、柔道、サッカー、ボウリング、少林寺拳法、ラクロスの11競技にわたり、54団約1,400人の団員が登録しています。特筆すべきは、ラクロスで、ラクロス競技のスポーツ少年団は、現在、日本に1団のみということです。市本部としてももっと知名度を上げようと力を入れて応援しているところです。

藤沢市本部の年間イベントの中で、団員がいちばん楽しみにしているのが、スポーツ交歓会。いわゆるスポーツ少年団の運動会ですが、その種目の中に毎年恒例の「仮装リレー」があります。これは、指導者をアニメの登場人物・キャラクター・有名人などに変装させるもので、毎年、たいへんな盛り上がりを見せています。新型コロナの影響でスポーツ交歓会自体が出来ない年もありましたが、今年もまた大いに盛り上がり予想されます。

子どもたちが、スポーツを通して、そして、仲間を通して、大きく成長してくれることが、指導者にとっての大きな喜びです。長く少年団活動に関わってこられたことは、私にとって大きな財産です。これからも、可能な限り、少年団に関わっていけたらと思っています。



スポーツ交歓会

令和5年度 事業計画

指導協は県内各地で活躍する指導者の学びの場を提供し、資質向上を図ることを目的に事業運営を行っております。これまでの研修事業に参加された指導者・保護者の皆様には大変有意義であったと好評をいただき、その言葉を力にしながら今年度も研修事業の運営を準備しております。

今年度は2コースで開催を予定。

①神奈川県スポーツ少年団指導者研修会 (公認スポーツ指導者更新研修)

令和5年11月11日(土) 午後1時～5時 藤沢市民会館第2展示ホール

「ジュニア・ユーススポーツの指導のあり方」 講師：富田寿人先生

※中学部活動の地域受け入れについて考えます。

②神奈川県スポーツ少年団研究大会 (公認スポーツ指導者更新研修申請中)

令和6年1月13日(土) 午後1時～5時 ベルク横須賀会議室

「ジュニアスポーツとアンガーマネジメント」 講師：菅野昭子先生

※ベストコーチングのため、指導者の怒りのコントロールについて学びます。

詳細は各市町本部へ要項等送付いたしますが、事前に情報提供を求めたい場合は指導協委員長(梅井)へメールにてご一報下さい。 [E-mail narasia.k.u2829@gmail.com](mailto:narasia.k.u2829@gmail.com)

尚、今年度より指導協が開催する研修会及び研究大会は、JSPO 公認指導者のための更新研修と位置付け開催できるよう準備運営することとなりました。別途開催要項をご参照下さい。スポーツ少年団の団運営に携わる指導者・役員・フタッフの皆さんの参加も受付しています。

スポーツ安全保険 文化活動も加入出来ます

対象となる事故 **団体活動中の事故／往復中の事故**

保険期間 令和5年4月1日の午前0時から令和6年3月31日午後12時まで

4名以上の団体・グループで加入ください

スポあんネット パソコン・スマホで だれでも、かんたん 便利に使いやすい!

でインターネット 簡単お手続き

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

QRコード

公益財団法人 スポーツ安全協会 **スポーツ安全保険** 検索

編集後記

- *今年度は9月に入ってから厳しい暑さが続いています。様々なスポ少活動は、コロナの影響を乗り越えて活発に実施されています。子どもたちの元気な声が聞こえてくるようです。一方、2023年度以降からはスポーツ少年団の在り方・活動を今後どうしていくか、学校部活動の地域移行はじめ、真正面から向き合い皆で考える、エポックメイキングのような時期でもあるのかなと思います。
- *そして今後の在り方を考えるヒントの一つが2頁の「ジュニアスポーツフォーラムだより」です。全国のスポ少指導者が集い、多様な課題を情報共有しスポ少の将来について学びます。是非、一読してみてください。例年6月に東京で開催され、スポ少指導者のどなたでも希望参加できます。
- *そんなスポ少の根幹を支えている「市町本部長紹介」第2回目は、谷口本部長です。藤沢市のスポ少に関わるようになったキッカケから、現在に至るまで情熱をもって携わってきた姿に感動します。『子どもたちの大きな成長は指導者の大きな喜び、長く活動に関わられたことは、私にとって大きな財産。今後も可能な限り関わっていきたい』胸を打つ言葉です。
- *最後に巻頭・安倍県本部長あいさつ、スポーツ環境の未来にどのように取り組むか、真摯に考えよう! スポ少はスポーツと関わりの第一歩を担う大切な存在であることを自負しよう! というものです。今年度から実施している「市町巡回ミーティング」がスポ少再デザインを考え、一歩前に踏出す推進力となるよう願っています。 総務広報部会長 浅野俊二